

持続可能な開発目標 (SDGs) の詳細

追加資料 2

(内閣府パンフレット「地方創生に向けたSDGsの推進について」より抜粋)



日本自身の課題に関係が深い目標の例

- 成長・雇用
- クリーンエネルギー
- イノベーション
- 循環型社会 (3R: Reduce Reuse Recycle 等)
- 温暖化対策
- 生物多様性の保全
- 女性の活躍
- 児童虐待の撲滅
- 国際協力 等

⇒実施には、多くの国内省庁が関係。

ロゴ：国連広報センター作成

- 2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。
- 「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための2030年を年限とする17の国際目標 (その下に169のターゲット, 232の指標が決められている)。

1. 普遍性

先進国を含め、全ての国が行動

2. 包摂性

人間の安全保障の理念を反映し、「誰一人取り残さない」

3. 参画型

全てのステークホルダーが役割を

4. 統合性

経済・社会・環境に統合的に取り組む

5. 透明性

定期的にフォローアップ



【8つの優先課題】

①あらゆる人々の活躍の推進

②健康・長寿の達成

③成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション

④持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備

⑤省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会

⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全

⑦平和と安全・安心社会の実現

⑧SDG s 実施推進の体制と手段